

チック

くせ？

ほうっておいて良いの？



チック症状

運動チック	音声チック
まばたき（目をパチパチ） 白目をむく（クルッ） 首を曲げる、すくめる 飛び跳ねる など	咳払い 鼻すすり 「あっ」など短い声 汚言 など
ピクッ、ピクピクッ とした動き	その場に合わない 関係ない短い発声

意識せずに、突然出てしまう、
素早く短い動きや声
繰り返し出てくるもの

原因はストレス？

チックは**心の病気** . . .



ではありません！

ストレスや不安で症状が出てきたり、変化したりするので心の病気と思われがち

原因は遺伝子を含めた生物学的因子

つまり **「生まれつきチックが起こりやすい**

脳の性質」 があるのです

ストレスや不安はきっかけで
原因ではありません



診断は？

症状で診断します

必要に応じて脳波や発達検査などの検査を行うこともありますが、基本的には**特徴的な症状が半年以上続いていること**で診断します



対処方法は？



症状を指摘しない！

「またやってる」「やめて」など
言わず、そっとしておきましょう

特別な対応・育て方は不要

家では目に余る症状でも、学校では大丈夫
だったり・・・。

家で増えるのは「家に問題がある」のでは
なく、**家がリラックスできる**ところだから





薬はないの？

ありますよ

抗精神病薬

世界的にスタンダード

漢方薬

いろんな種類が
あります
当院ではわりと
使ってます

抗てんかん薬

昔ながらの方法
濃度が測れるので調整
しやすいです



その他

少量Dopaなど他にもいろいろ

いろんな薬がありますね。つまり、バシッと効くような
特効薬はないということです。

あれこれ、一つずつ、**お子さんに合った薬を探すこと**になります。まったく効かないことも。

気をつけるチックと併存症

トゥレット症

運動チック・音声チックが
両方とも1年以上続いている

併存症

強迫症、注意欠如・多動（ADHD）
怒り発作、抑うつや不安

トゥレット症は自然には治りにくく、併存症があるとお子さんも家族もしんどく・つらいです。
心当たりがある場合にはご相談を。

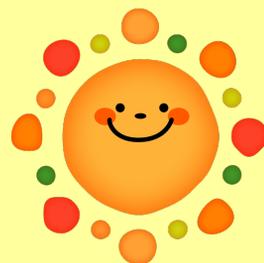


治るの？

多くのチックは一時的で、1年以内に消失することが多いです。

トゥレット症も10代後半に良くなっていく、と言われていています。

と「教科書」には書かれていますが、当院の経験的にはやっぱりトゥレット症のお子さんは治りにくい印象です。



まとめ

今回はチック症をご紹介しました。症状で診断しますが、なかには検査が必要な場合があります。気になる場合はご相談ください。治療目標は「症状がなくなる」ではなく、
「チックがあっても気にせず、困らずに普段の生活が送れること」です。そのためには、お子さんだけでなく、親御さん・学校などさまざまな協力も大切です。

最後までご覧いただきありがとうございました。
今回は「小児心身医学テキスト」という本を主に参考にして作成しました。

